

運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	小規模多機能施設 ゆい青葉		
サービス種別	小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市青葉区荏田町1288		
担当者	井口 祐太	連絡先	045-912-6461
運営法人	株式会社 ゆい		

2. 開催日時・場所

日時	令和6年5月14日 16時 ~ 16時半	場所	小黒自治会館
----	----------------------	----	--------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
■■■■■	利用者又は利用者の家族	
■■■■■	地域住民の代表者	民生委員・児童委員
■■■■■	地域住民の代表者	自治会長
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	歯科医
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	ほっと青葉
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	美しが丘地域ケアプラザ ■■■■■
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	荏田地域ケアプラザ ■■■■■
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	大場地域ケアプラザ ■■■■■
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	すすき野地域ケアプラザ ■■■■■
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	たまプラザ地域ケアプラザ ■■■■■

4. 活動状況報告

別紙(第3号様式)のとおり

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

民生委員：担当の方を訪問すると「ゆいさんに行くと楽しい」ご家族も「任せています」と仰る。8年ぐらい見守っている。これからもよろしくをお願いします。

包括①：地域の他施設の職員のバイオリン演奏や、自治会館を使用しての運営推進会議開催など、施設として地域との関わりがしっかりされていると思う。ボランティアの受け入れはどうか。

包括②：ケアの個別性や施設として「できない」ではなく「できるように考える」考え方、職員の雰囲気などに接しているので、地域の困難な方についてもお願いしたいと思っている。

歯科医師：裁判で誤嚥性肺炎の方について、施設で何回か窒息していたのにヒヤリハットの検討や共有がされていなかったことを理由に賠償が認められた事例がある。咽込みが酷くなってきているなどの経過やヒヤリハットの検討記録は必須と考えた方が良い。

住民代表：初めて会議に参加して「事故」は、施設ではよく起こるものなのかと気になった。

支援事業者：ずっと会議に参加している中で小規模多機能施設の良さを学ばせてもらい、家族の介護にも活かすことができた。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

ヒヤリハット 情報をいただいた咽込み・窒息に限らず、今後も検討を継続する。
について：施設としては行政報告にならないような軽微なものであっても「事故」として検討することで、大きな事故に繋がらないように今後も検討を継続する。ヒヤリハットも同様。

ボランティア 積極的に受け入れているわけではないが、今後、ご紹介があれば検討していく。
について：
地域参加：今までは地域の行事に参加することを中心としていたが、地域の方を招くことができるようにしていく。

7. 地域からの情報提供

包括：1月に参加いただいたのは「一緒に楽しもう会」ではなく「アートを楽しもう会」。10月に開催するので参加してください。包括にボランティアをやりたいという方が来るので、受け入れていただけるならご紹介します。

地区社協：毎月やっている駅前サロンで、5/20に施設紹介をお願いする。比較的元気な方がいらっしゃるので利用についての理解や施設を知っていただく機会となればと思う。社協では、フラワーアレンジメントやいちご狩りなどもやっており今後も情報提供をしていきます。

8. その他特記事項

運営推進会議開催に先立ち、施設の見学会を実施した。
7月10月には施設での簡単なイベントを計画している。
3月施設に隣接して障害者グループホーム開設。5月ホームページをリニューアル。

※ 会議は原則事業所内で行ってください。
やむを得ず他の場所で開催する場合、必要に応じて事業所内の見学を行ってください。

活動状況報告書(小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護)

1. 基本情報

事業所名	小規模多機能施設 ゆい 青葉		
所在地	横浜市 青葉区 荇田1288		
担当者	井口 祐太	連絡先	045-912-6461
運営法人	株式会社 ゆい		

2. 登録者の状況

登録者数(4月30日現在)	女性 16名		男性 3名		計 19名		
要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	名	名	5名	4名	3名	2名	5名
平均介護度	3.1						

3. サービス提供回数(会議開催の前月分)

登録者	通い	泊まり	訪問	備考(入所日、退所日など)
ア	12	0	31	
イ	19	10	0	
ウ	23	18	8	4/27ご逝去
エ	13	0	35	
オ	26	4	45	
カ	10	0	28	
キ	30	30	0	GH入所待ち
ク	16	5	23	
ケ	16	4	24	
コ	28	27	8	4/28特養に入居
サ	10	0	23	
シ	23	6	38	
ス	8	0	16	4/9特養に入居
セ	27	7	39	
ソ	18	10	17	
タ	8	4	8	
チ	25	26	8	
ツ	8	0	8	
テ	8	0	16	
ト	11	1	46	
ナ	9	0	18	
ニ	4	0	8	包括より紹介
ヌ				
ネ				
ノ				
ハ				
ヒ				
フ				
ヘ				
平均	16	7	20	

*

(裏面あり)

4. 運営方針

事業所の目標	事業所の理念:その人らしく生きる～その一瞬を大切に～ 今年度目標:チャレンジ、成長、自律と自立
目標に向けた 具体的取組	<p>【事業所のしつらえ・環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様が何かやってみたいと思える環境づくり <p>【事業所と地域のかかわり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と関わる機会を設ける(例:地域の行事にご利用者様と参加) <p>【業務・職員について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい環境づくり、業務効率化に向けてICTの活用 ・『その人らしく生きる』を意識し必要なケアを皆で考えるために 月1回のカンファレンス及びチームケアを行う。 ・スタッフの成長をサポート

5. 活動報告

<p>○社内研修</p> <p>4月・・・「非常災害時の対応に関する研修」 5月・・・「倫理及び法令遵守に関する研修」</p> <p>○行事</p> <p>3月・・・桜の壁飾りの作成 4月・・・お花見、ボランティアによるヴァイオリン演奏、イチゴ狩り</p> <p>* フラワーアレンジメント・・・毎月第2・第4木曜日 希望者のみ参加</p>
--

6. 事故・ヒヤリハット報告

内容	<p>事故・・・2件(内行政報告1件) ヒヤリハット・・・2件</p> <p>●事故報告</p> <p>①転倒 2/26(月)AM7:30 朝食後に2階居室でベッド臥床しているところを確認していたが、その後物音がしたため訪室したところベッドからずり落ちている状態で発見。外傷等はなし。夜勤職員は他利用者様対応中だった。</p> <p>②転倒 2/27(火)歩行器を使用中にバランスを崩し前のめりに転倒。職員が後方にいたが支えきれずに一緒に転倒する。その後病院受診し、右頬の打撲と診断。</p> <p>●ヒヤリハット</p> <p>①転倒の危険 テーブル席に誘導後、車いすフットレストに足を乗せたままの状態であることを発見。近くにいた職員が声掛けしてフットレストから足を下ろすよう促すとともに再度フットレストに足を乗せないよう、フットレストを上げる対応を行った。</p> <p>②転倒の危険 一人で階段昇降が危険な利用者様が、一人で階段を上ろうとしているところを発見し介助にて2階フロアに移動。</p>
----	--

改善策	<p>事故① 【原因】普段、朝食後は1～2時間ほど横になっていることが多いので大丈夫だという思い込みがあり、起床時に片づけたセンサーマットを再度設置することを怠った。本人の希望があり、居室の扉を閉め切っていたことで動きが把握できていなかった。</p> <p>【対策】朝食後だからと油断せず、センサーマットは必ず使用する。本人の希望があった場合も説明して、死角を作らないようにする。</p> <p>事故② 【原因】本人が使用している歩行器を自宅に忘れてきたので、施設の歩行器を代用していた。ご家族に予定があり、歩行器を取りに戻れない状況だった。</p> <p>【対策】私用の歩行器以外は使用しない。ご家族に転倒リスクを説明し自宅に忘れた際は取りに戻れるようにする。どうしても取りに戻れない場合には両手引きで歩行介助する。訪問リハビリの担当者とも連携を取り、介助方法について相談していく。</p> <p>ヒヤリハット① 【原因】テーブルに誘導する場合は基本的にはフットレストから足を下ろす、ということの認識不足があった。誘導後の安全確認が不十分であった。</p> <p>【対策】ADLの向上も踏まえて、座位が取れる方は椅子に座ってもらう。椅子への移乗が難しい場合は、フットレストから足を下ろす。(プレーキの確認、フットレストの確認は基本として捉える)</p> <p>ヒヤリハット② 【原因】頻度は低いですが以前から同様の行動があった。職員も意識しながら対応しており、階段手前で対応することが出来た。</p> <p>【対策】今後も本人の精神状態を加味しながら、先回りして声掛けする対応を継続していく。精神的に落ち着かない日には2階フロアで過ごすことも検討する。</p>
-----	---

7. 地域への情報提供

・5月20日荏田地域のイベント「駅前立ち寄りサロン」に参加予定。地域の方にゆい青葉を知っていただく貴重な機会となりますのでぜひ参加させていただきたいと思っております。

・今年の1月に地域ケアプラザと横浜市民ギャラリー共催の「一緒に楽しもう会」に参加させて頂きました。今年の10月にも開催予定とのことでグループホームと共に参加させていただきたいと思っております。

8. その他特記事項

職員の異動等なし